



社会福祉法人おおぞら会 広報紙

SSKP はばただより

vol.142



あすはkids

～子どもたちのあそび～



子どもたちは、楽しいことを見つけるのが得意です。
というか、やりたいこと、楽しいことしかしません。
それが、一人ひとりの原動力。その力を蓄え、発揮する
中で、「生活する力」も少しずつ付けていきます。

新しい年がはじまりました。昨年は、なにかすべての流れが止まってしまったような一年でしたが、私たちは人とふれあい、人と生きているんだということを、自由に会えない時間の中であらためて痛感した一年でもありました。この思いを忘れることなく、人とのつながりを大切に施設づくり、地域づくりをしていきたいものです。あともう少し続くであろうこの日々に、まずは踏ん張らないといけませんが、このおたよりも楽しい話題を載せていけるようになることを願って…。みなさん、本年もよろしくお願いいたします。

社会福祉法人おおぞら会

2021年を迎えて～皆さまのご多幸を祈りつつ～

社会福祉法人おおぞら会理事長 西原雄次郎

去る2020年の一年は、きっと歴史に残る大変な一年でした。
この年を共に生き、共に暮らし、新年を迎えた私たちは、まぎれもなく同志だと思います。

「人類のおごり高ぶりをいさめるべく、未知の世界から送り込まれた使者」のようにさえ思える新しいタイプのウイルスが、私たちの平穏な日常を奪いました。多くの人が知っている著名人たちのいのちも奪いました。市井の多くの皆さんのいのちも奪いました。明日は自分ではないかという不安な気持ちも広がりました。この事実の前で、新年のお祝いの言葉を交わすことさえも躊躇させられています。

こんな一年にもかかわらず、多くの利用者の皆さんが日々元気に通って来て下さいました。多くのご家族の皆さんや、市民の皆さんからの物心両面での応援もいただきました。行政からのサポートも活用させていただきました。

そして職員は皆、「うつらない！ うつさない！」と念じつつ、感染症対策を徹底して日々の業務を遂行してまいりました。今はただ一日も早く安全なワクチンが開発され、効果のある治療法が確立されることを願うばかりです。

おおぞら会に関わって下さっている皆様、本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

さて、2021年(事業開始から24年目)が始まりました。今年はどんな年になるのでしょうか。今年の私たちの大きな課題の一つは、諸事情で延期していた“さくらハイツ”(グループホーム)の建替えを具体化する準備に取りかからねばなりません。2022年度の完成をめざして、皆で知恵を出し合って取り組んでいきます。

また、地域社会でのおおぞら会の役割を見極め、私たちが今後どのような方向で利用者さんや地域社会の福祉に貢献出来るのか、少し先を見通して展望する作業も始めねばならないと思います。
そして、人材確保と安定経営も忘れてはならない私たちの最重要課題の一つです。行きつ戻りつしながらですが、少しずつでも前進することを願い、一人一人の目標と合わせて慎重に一步を踏み出したいと思います。もちろん新型コロナウイルスへの対応も、引き続き細心の注意を払ってまいります。



壁面創作完成！…はばただけ

2021年が新型コロナウイルスの恐怖から解放される年になりますよう！

皆様が安心して暮らすことが出来る一年となりますよう！

そして、最後に、今年もまたおおぞら会のことも励ましていただけると幸いです。

野ざきの家

【小規模多機能型居宅介護】



コロナウイルスで大きく世界が変わった一年。野ざきの家も例外なく影響を受けました。毎年開催していた行事の数々、例えば外出先で桜を見ながらお弁当を食べ、春を感じることができるお花見会や、スイカ割りやクイズなどで盛り上がる「夏フェス」、忘年会のように余興や馴染みの歌で笑いの絶えないクリスマス会…今まで当たり前だったことをすべて見直さざるを得なくなりました。



それでも今何ができるかをみんなで考え、それでも利用者の方々が季節を感じ、笑顔になれる時間を少しでも作れるように工夫し、“いつもの野ざきの家”を維持してきました。



お家からもってきた道具で畑仕事もお手のもの！

また、このコロナ禍において、密になりやすい環境の「通い」から、「訪問」にも力を入れるようにしました。日中、野ざきの家で過ごす時間は人とのつながりを感じられる大切な時間ですが、感染リスクを考慮して訪問に切り替え、個別に自宅での食事や体調管理のサポートを中心にする形も模索してきました。おひとりおひとりの状態や環境に合わせ、臨機応変にサービスを組み立てる…まさにこのコロナ禍のような状況下において「小規模多機能型居宅介護事業」(ひとつの事業所で「通い」「訪問」「泊り」の居宅支援をマネジメントできる)のメリットが発揮できたのではないかと感じます。さらにこの訪問の増加を機

に、野ざきの家では小周りのきく車を購入しました。こちらの車両は国の「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業」の助成金を活用させていただきました。こういった援助のもと、さまざまな状況に対応できたことで、運営の安定が維持できたと感じています。

しかし今年もまだまだ困難は続くと思います。2021年度には介護報酬の改定も予想され、社会全体の経済の悪化が福祉にどう影響を及ぼすか、行政からの情報などにも常にアンテナを張り、「考え・備える」を意識しながら、柔軟に対応していく必要が出てくることと思います。

そして地域には多くのニーズが潜在しています。「遠方の娘さんが毎週通って見守りをしてきたが、一人暮らしのお父様の心配が増え、認知症ケアも必要になってきたので、サービスにつなげたい」など、相談も絶えません。こういったニーズを受け止められるよう、新たな年…身を引き締めていきたいと思います。

(事務員 前田直樹)



工房 時 【就労移行支援・就労継続B型】

寒さが厳しくなるにつれ、新型コロナウイルスは収束するどころか、益々感染者が増えていきます。工房時は食品製造と飲食店(うどん屋さん)、そして給食調理を仕事にしている施設ですので、とくに検温、換気、消毒、手洗い、マスク着用とコロナ対策に気をつけ、徹底をさせています。またうどん屋さん『おもむく食堂』は席数を少なくし、アクリル板で仕切る等の対応をして、営業を続けていて、月曜日にはテイクアウトのお弁当の販売もしています。

昨年は、イベントやお祭りでの販売、地域の公共施設での販売がすべてなくなり、売り上げも落ちる中、なんとかこの状況を打開すべく、みんなでアイデアを出し合い営業活動をしてきました。そして、三鷹の中央通り商店街にある「地産マルシェ三鷹店(ファームドウホールディング株式会社)」に工房時のケーキやクッキーを置かせていただけることになりました。売り上げも順調に伸びており、ファームドウが経営している他の店舗でも販売をさせていただけることになりました！

また、新商品として、近隣の吉野農園さんから仕入れた地鶏たまごで作ったプリンの販売を始めました。日頃、給食を作っている調理部の所員と職員が力を合わせて作りました。容器には所員が描いた絵をシールにして貼ってあり、楽しく食べることができます。

このように少しずつですが、前向きに新しい取り組みを始めている工房時。地域のお店、農家さん…さまざまな方々とつながりながら、“おいしい”を広めていくため、今年も一層がんばっていきたいと思っていますので、ぜひお近くにお立ち寄りの際は、お買い求め下さい！

また、コロナ禍の中、活動が難しかった工房時の就労移行支援も、少しずつ動きをつくっています。今年度、けやきの森学園を卒業し、工房時に通い始めた櫻井さんが就活セミナーに参加しました。全四日間のセミナーで、内容は挨拶、面接、言葉づかい、履歴書の書き方などです。

スーツを着て出かけること、電車での移動、外食のランチなど、講義だけではなく、セミナーに参加することにより、様々な体験ができました。振り返りの中で櫻井さんからは、「面接の練習が緊張して大変だったけど、楽しかったです」といった感想が聞かれました。就労はもちろん、今後自立に向けた生活を送っていく上でも、貴重な経験になったと思います。

全国的に経済が落ち込み、厳しい経営状況の企業も増える中で、今後ますます就職活動は難しくなると思いますが、やはりこのような実践を丁寧に積み重ねていくことが大切だと、櫻井さんの凛々しいスーツ姿を見て、あらためて思いました。

(管理者 立野信行)



おいしいプリンいかがですか！

¥250

事前にご予約ください！



アクティビティセンターはばたけ 【生活介護事業】

～いろいろな工夫の中で!!～

昨年一年、大好きな行事や活動に制約がある中、利用者からは「もっと体を動かしたい! 楽しいことしたい!」という声やアクションがたくさんありました。その声に応えるため、「これならできそう!」と職員も一緒に知恵を出し合い、少人数での近隣外出や、大きな壁面制作、庭や公園でリフレッシュできる雰囲気をつくり、閉塞感を吹き払えるような活動を意識して取り組んできました。10月には施設の大規模修繕もあり、工事箇所に合わせて使えるスペースを区切り、密にならない工夫をして、それでも空間が取れない時期は、ご近所の東野地区・野崎地区公会堂を使わせていただきました。

そんな中、ご近所の皆さんには、「おまつりが中止で残念ね!」と声をかけていただきました。少し世の中が落ち着いた時期には、しばらく来ることができなかったボランティアの方も「何か手伝えることは?」と、はばたけ前の道路や中庭の落ち葉掃きをきっかけに再開してくださり、こういったやりとりに少しホッとする日々が続いています。



はばたけは、利用者にたくさんの社会経験や人とのつながりを感じてもらう活動をする場なのですが、現在は、これまでと同じ感覚で活動を考えるは難しいと感じています。ただ、今までやってきたことの引き出しが沢山あるので、そこから工夫をすることで、新しいスタイルができていくと実感しています。利用者の皆さんも、状況理解が難しい中でも、マスクや消毒が自分からできるようになった方や、掃除を丁寧に行うようになった方など、新しい日常に馴染もうとされる姿が見られています。それぞれの頑張りや周りの皆さまからの励ましを原動力にしていきたいと思います。引き続き休んでいる方や慎重に通所を再開させた方にも、「つながり」が途切れないようにし、この状況が落ち着くことを願って「ほっとできる居場所」をつかっていきたいと思います。

(管理者 柴田 信)



苗植えにテーブルづくり…創作も空の下で



ハロウィンの仮装大会!

サポートネットあすは

《移動支援・同行援護・行動援護・居宅介護事業》

サポートネットあすはでは例年6月と11月にガイドヘルパー養成研修を行っています。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で6月は中止としましたが、11月は定員を半分に以下にし、受講生同士の距離の確保、換気や消毒等の予防策を講じた上で開催することになりました。

今、新型コロナウイルス流行が原因でガイドヘルパー派遣事業所は大打撃を受けています。中には事業を休止せざるを得ない事業所もあると聞きます。また、利用者の方にとっても「外出しづらい」状況が続いています。

このような状況の中でしたが、養成研修には定員を超える申し込みがありました。ガイドヘルパーの仕事に興味を持ってくれる方が地域にいること、それ自体がとてもありがたいことだと感じています。知的障害のある方へのガイドヘルパーは、施設の職員や学校の先生とは違った立場で利用者の方に関わります。少し語弊があるかもしれませんが、より友人に近い立場と言ってもよいかもしれません。



今一番気がかりなのは、ガイドヘルプを利用している外出が減ることで、こうした利用者の方の人間関係が狭まってしまうのではないかとことです。

これからは、今までとは違った外出の仕方、支援の工夫が必要になってくると思いますが、ヘルパーの方とも協力しながら乗り切っていきたいと思います。

コロナに負けず、今年は穏やかな一年になりますように！本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(管理者 鷹觜 綾)

グループホーム

《共同生活援助》

法人で運営している三つのホームでは、通所施設のようないわゆる「施設行事」のようなものはあまりないのですが、それぞれ入居されている方のお誕生日にはささやかなごちそうやケーキでお祝いをします。

リクエストメニューや好きなケーキが並ぶテーブルで、その日の主役は必ずがゆそうに、でも誇らしそうにしています。

同じ屋根の下で暮らすがゆえに、互いの暮らしが気になって、時には喧嘩をしたり仲良くできないときもあるけれど、「おめでとう」「ありがとう」の飛び交うテーブルは不思議とみんな笑顔！…これが「一緒に暮らす」ということなのかもしれませんね！



(管理者 入倉 暁子)

おおぞら会後援会ニュース

新年、あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、よき新春を迎えられたことと、謹んでお慶び申し上げます。旧年中は格別のご厚情を賜り、深く感謝申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

コロナ禍においては一向に落ち着きが見えないなか、皆様の暮らしの変化とともに法人・事業所の活動にも制約が生じております。障害のある方や介護が必要な高齢者の方にとって、環境の変化が大きなストレスとなることも多く、早期の収束を願うばかりです。

おおぞら会に関わる利用者・ご家族さま、コロナ対応に従事する職員・関係者の皆様には引き続きご自愛くださいますようお願い申し上げますとともに、後援会活動にお力添えをいただきますようよろしくお願いいたします。

社会福祉法人おおぞら会後援会 会長 吉野 壽夫

★後援会新規ご入会・ご更新（敬称略・順不同）

個人127名 法人3社の方々から、ご入会・ご更新のお手続きをいただきました。
ありがとうございました。

★後援会へ寄附（敬称略・順不同）

個人14名 法人1社の方々から、後援会へご寄附をいただきました。ありがとうございました。
ご寄附は大切に活用させていただきます。

★後援会経由 法人・各事業所へ寄附（敬称略・順不同）

個人9名 法人3社の方々から、法人・各事業所へご寄附をいただきました。
ありがとうございました。ご寄附は大切に活用させていただきます。

（以上、R2.7/1 ～ R2.11/9 集約分）
皆様ありがとうございました。

* 後援会へのご入会・ご更新をお願いいたします *

年会費 1口 個人…2000円 団体…10000円

年会費は、お手数ですが直接お持ちいただくか、下記の口座にお振込みください。

郵便口座 00160-0-39163 口座名義： 社会福祉法人おおぞら会後援会

information

支援スタッフ募集！

採用条件、労働条件等の詳細については、おおぞら会本部へ直接お問い合わせいただくか、またはハローワークの情報もしくは東京都福祉人材センターのホームページ「福祉のお仕事」www.fukushi-work.jp/、または「ジョブメドレー」で検索してご確認できます。

人と関わるのが好きな方
タフでガッツのある方
大歓迎です！



★日中お時間のある方★

- ・障害がある人たちの日中の作業活動(散策・創作・運動など)
- ・障害のある子どもたちの放課後の遊び支援
- ・送迎車の運転・添乗(短時間勤務)

★休日や夜間帯で効率よく時間を活用したい方★

- ・グループホームの宿直夜勤
- ・障害者のおでかけサポート(ガイドヘルパー)
- ・高齢者のデイサービスや泊り

…それぞれ活躍できる現場があります！

法人のこと、施設のこと…わからなくて迷っている方は、
まずは見学からどうぞ。

おおぞら会本部

0422-30-5571 (中野) まで

働き方いろいろ

正規職員・契約職員(常勤)
パート職員・アルバイト



社会福祉法人おおぞら会

- | | | |
|---|---------------|------------------|
| ・ アクティビティセンターはばたけ (生活介護事業) | 三鷹市野崎 3-17-9 | tel 0422-32-3234 |
| ・ 工房時 (就労移行事業・就労継続 B 型) | 三鷹市野崎 2-6-41 | tel 0422-30-5571 |
| ・ 野ざきの家 (小規模多機能型居宅介護事業) | 三鷹市野崎 2-6-41 | tel 0422-30-5575 |
| ・ サポートネットあすは (移動支援[居宅介護]事業) | 武蔵野市八幡町 1-6-1 | tel 0422-36-5151 |
| ・ あすは Kids (放課後等デイサービス) | 武蔵野市八幡町 1-6-1 | tel 0422-36-5151 |
| ・ つなぐなかまの家・さくらハイツ・つむぎの家 (共同生活援助) | | tel 0422-26-1320 |

先日、トレッキングに出かけた。紅葉も終わりの時期だったが、木や土の匂いが清々しく、人がほとんどいない山頂で思い切り深呼吸をした。「老体に鞭を打ってでも登ってよかったな」…カップラーメンをすすりながら世の中の悲壮感を忘れるひとときを尊く感じた。2020 年…思いがけない事態と社会の変化に心身ともに疲弊したが、少し立ち止まりリセットして、まだしばらく続く困難に折れない心で 2021 年を迎えたいと思う(これを書いているのは年末…)。世界各地では観光地から人が減り、動物の生態系が戻ったり、排気ガス汚染が減った事例があるそうだ。何が大切か…世の中みんなでリセットして次の一歩を進めたら、この一年の経験が少しは意味あるものになるのだろうか。

(いりくらあきこ)

発行 障害者団体定期刊行物協会 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17-102 [頒価 50 円]

企画・編集 社会福祉法人おおぞら会 編集責任者: 入倉暁子